ママさん、夜這いはOKデスか？

～絶倫外国人の極太チ●ポに何度もイキ喘ぐ

19

断華ナオキ

ただいまーっ
お…おかえりなさい…

おっかえりなさーい!!
あれ? 菜々子さん!?

どうだった? 久しぶりの故郷は
え…ええ…楽しかったわ…

一緒に帰ってきたのかい?
そ…それが実は…

ええ～っ!?
菜々子おばさんこっちに住むの!?

おば…?
じゃない…お姉さん…!!

…でも…そんなこと勝手に決めて…
ね…ねぇあなた…?

う～んいいんじゃないかなぁ
仕事と家が決まるまでウチにいてもらっても

え…!?
あなた…!?
さっすが
お義兄さん
話がわかる~♡

……

ねぇロベルト
ママの故郷
どうだった?
……あぁ
とても
いいところ
だったよ

これは
菜緒に
おみやげ
わぁ~
ありがと!!

さぁさぁ
お義兄さん
お酒注ぎますよ~
おっ
いやいや
悪いねぇ

アタシも
お義兄さんみたいな
優しい彼氏
ホシー♡

はははは…
そっ
そうかい？

結局
ロベルトの
用事って
なんだったの？

本で見た
素敵な場所が
あってネ

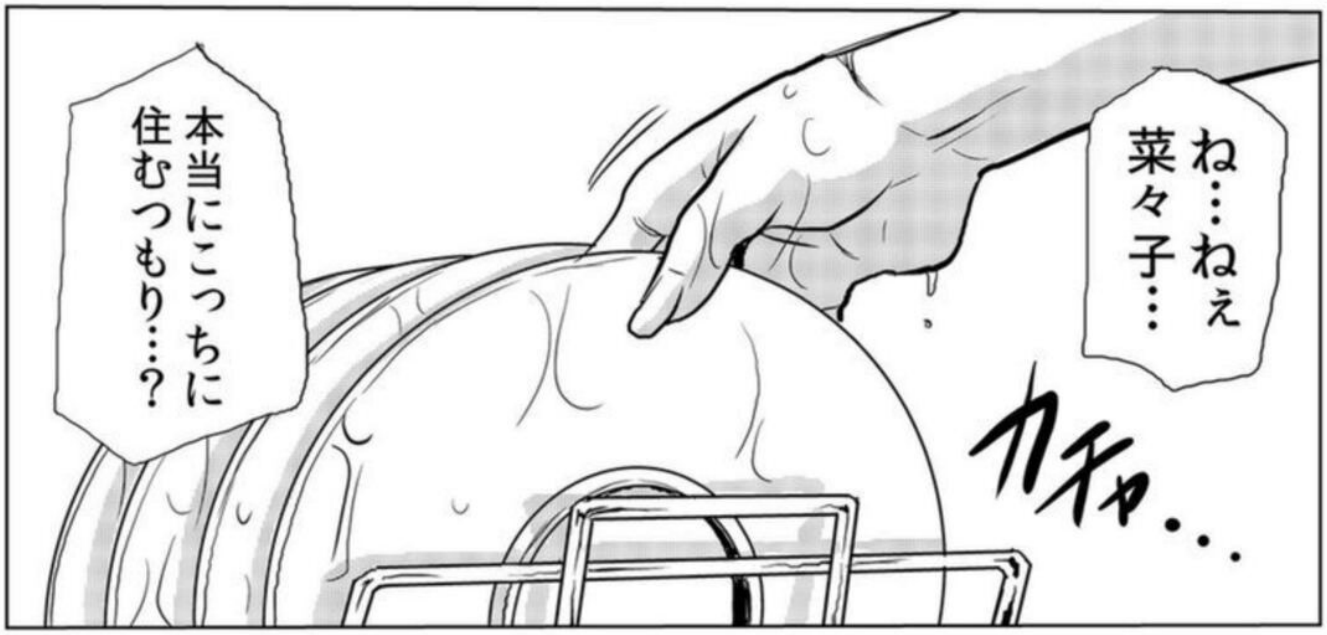
そこを
見てみた
かったんだヨ

……

…ど…
どうしよう…

最悪な
状況に…

ゴクゴクゴクゴクゴク


ね…ねぇ菜々子…
本当にこっちに住むつもり…？
カチャ…

そうだけど
なんか問題ある？
い…いや
問題はないけど…

…なんだか
アタシにいて
ほしくない
オーラ全開
だけど…

なんか
マズいことでも
あるのかな？
お姉ちゃん？

い…
いや……

別にない
けど…!!

フーン

まぁ
いいけど

じゃあ
先に寝るね

明日からも
ヨロシク～♡

はぁ…

……

はあ…

これから
どうなるの
かしら…

カラ

カラ…

なに？
菜々子…

まだ
なにか…

……

ママさん

…!!

ロベルト…

はっ
あっ
あっ
はあ…あ
あ…
ロ…ベルト
…っ!!
溢れてくるね
ママさん
もしかして
待ってたの
かい?
そ…
そんな
ワケ…!!
いや
待ってたん
だヨ
ボクには
わかるヨ

だってココは
こんなになってるんだもの
はあっぁあああっ
あっ
ああうああっ
二人が帰ってきたのにこんなに欲しがって…
ちゃんと言ってよママさん
な…
なにを…!?

ボクの
チ●チンが
欲しくて

こんなに
なってるって

そ…っ

ホラ
正直に
言ってヨ

どうして
ほしいの？
ママさん

ああっ　ふあっ
ああっ

言わないと
やめちゃうよ？

やあっ

ん？
やめないで
ほしいの？

ちっ
ちが…っ

じゃあ
どうする？
ぱぁ…
ぬちゃっ
あ…
う…う
ホラ
言ってみて
ホラ
あうっ
ぴ ちゃ
……っ
ヒュー
ヒュー
ヒュー
ヒュー
い…いれて
ほしい…
ん？
なにを？
どこに？
ロベ…ルトの
おチ●…チン…
私…の
な…かに…
ひゅーっ
ひゅーっ
ひゅー
ひゅー

よく言えたね
ママさん
はぁ…

はふぁ…
はぁ…

あ
はぁぁ

あ…っ
はぁぁぁぁぁぁっ

はっ
はっ
はっ
はっ
はっ

あ…
はぁ
いい音だヨ
ママさん
いい音…
とか…
言わないで…

そろそろ ボクのモノ なしじゃ
ガマンできない 体になってきた かな？
そ… そんな…
そんな こと…
本当に？
ふああああああっ
むしろ 興奮してるん じゃない？
家に家族が いるほうが
はっ
あ
あ
あ
あ

そ…

そんなわけない…っ!!

ひぐっ

こんな音させてるのに?

いつもよりグチャグチャになってるじゃないか

さっきボクが入ってきた時も

驚きながらも

期待してたよネ

これから何をされるか

わかってる顔だった

そしてソレを待ち望んでた

触る前からグッショリだったものネ…

ううう

もう耐えられないでしょ

挿れられてないと

ホラ
ぼすっ
はっ
ぱちゃ
ぼすっ
ホラ
あひぅ
ホラ
ぼすっ
ぶちゃ
ブチュ
ブチュッ
ぐちゃ
ぐちゃ
ふぁう
ああっ
わ…
たし…っ
ムリ
ムリ
はう
はぁ
さい…
て…いな
女……

そうだね
最低だね

家族を
裏切り

こんな男に
抱かれて
感じちゃって…

でも
心配しないで…

ボクも
最低の男
だから…

最低な者
同士

もっともっと
堕ちていこうよ!!

ヤダッ
ヤダッ
私は…
はっく
ひぅ
ひぎぃぅ

……
ボクに協力する？

そうよ誰にも言わないわ
アンタとお姉ちゃんの関係

信じられないネ
なんで君が協力を？

……アタシはね
お姉ちゃんがキライなの

…なんだって？
なぜ…

…まぁ
いいじゃない
理由なんて

兄妹三人
仲悪いんだよ
ウチはね

……

ホントは
交換条件として

アタシも
気持ちよくして
ほしいけどね

……

それは…

ムリ
なんでしょ？

こないだ
イヤってほど
わかったわよ

そのかわり

見せつけてよ

お姉ちゃんを
徹底的に
犯して

調教する
さまを

…君は変態なのかい？
フフ…そうかもね
どう？悪くない話でしょ？
はぁ
はー
はー
はー
はっ
あぁっ
あ
あっ
はっ
はー
あんな大きいの…入っちゃうんだ…

はぁ
はっ
はぁ
はっ
はっ
はっ
気持ち
よさそうに
しちゃって…
ああ…
いいなぁ…

……
あっ
あ
はぁ
あ

はあっ
いくっうう
いっちゃ
…
はっ
はっ
はっ

はっ
はっ
はっ

…
まったく

おかしな
女だね…

あっ
あっ

恥辱、凌辱、調教責めまくり!

著者：断華ナオキ

©2020 断華ナオキ

発行所：ＳＴＤパブリッシング

この物語はフィクションです。 登場する人物・団体・名称等は架空であり、
実在のものとは関係ありません。

本作品の無断複写・複製・転写を禁じます。